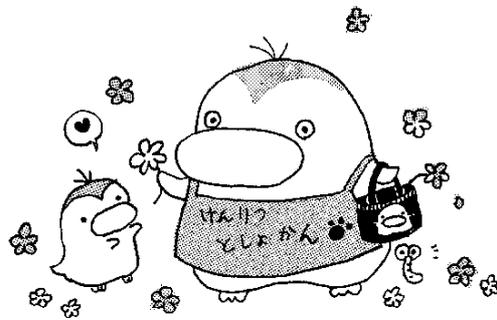


# 日本の物語



# イグアナくんのおじやまな毎日



- 佐藤 多佳子 文
- はらだ たけひで 絵

偕成社 / 1997年 / 1200円

親せきのおじさんが「生きている恐竜」と言っ  
て樹里の誕生日プレゼントにくれたのは、1メー  
トルもあるイグアナでした。25度以上40度以下  
で飼わなければならないイグアナに、増築した  
ばかりのサンルームを占領され、その上えさは  
早起きして特製のイグアナ・サラダを作らなけ  
ればいけません。手のかかるイグアナにパパも  
ママも樹里も大弱りですが…。

ジャンル  
家族

ジャンル  
動物

総ページ  
263p

# ウロコ



- 澤田 徳子 文
- 太田 大八 絵

教育画劇 / 1994年 / 1359円

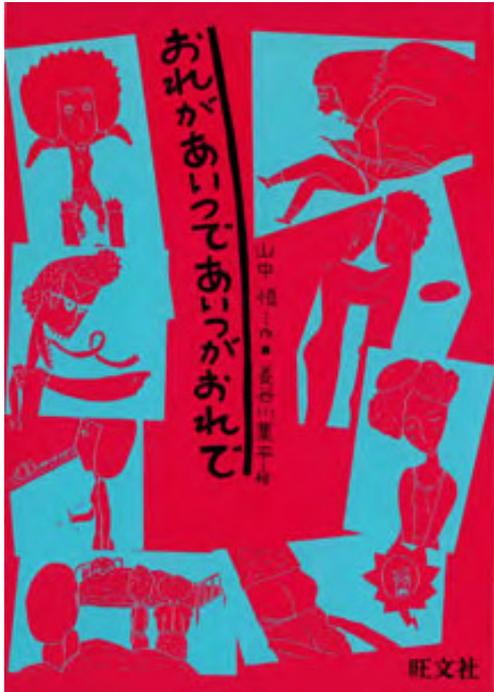
はくよう  
白蓉は、険しい山の中で薬草を探す最中に見た  
恐ろしく美しい竜の姿に心を奪われてしまいます。  
そして、故郷の母や恋人のことも忘れ、竜の行  
方を探し歩く「竜を見た」のほか、1枚の竜のウ  
ロコをめぐる、さまざまな時代・場所を舞台  
にくりひろげられる5つのお話が入っています。

ジャンル  
ファンタジー

ジャンル  
短編集

総ページ  
288p

# おれがあいつであいつがおれで



- 山中 恒 文
- 長谷川 集平 絵

旺文社 / 1980年 / 1190円

小学校6年生の斉藤一夫のクラスに、幼なじみの斉藤一美という女の子が転校してきました。一美から、みんなの前で小さいころの秘密をばらされて、怒った一夫は「身がわり地蔵」の前で一美に体当たりをします。そのとたん、なんと2人の中身が入れかわってしまいました。一美の体に一夫の心が、一夫の体に一美の心が入って戻らなくなり…。

ジャンル  
SF

ジャンル  
学校

総ページ  
224 p

# かもとりごんべえ

—ゆかいな昔話50選—



- 稲田 和子 編
- 宮田 奈穂 絵

岩波書店（岩波少年文庫） / 2000年 / 680円

かもとりのごんべえが、99羽のかもをいっぺんにつかまえようとして、かもといっしょに雲の上の雷さまのところへ飛んでいく「かもとりごんべえ」や、吉四六さんが、旅の先々で言葉の意味を間違えて覚えてしまう「旅学問」など、日本各地に伝わる昔話の中から、笑い話を中心とした50話が入っています。

ジャンル  
昔話

ジャンル  
短編集

総ページ  
254 p

# キツネ山の夏休み



●富安 陽子 作・絵

あかね書房 / 1994年 / 1262円

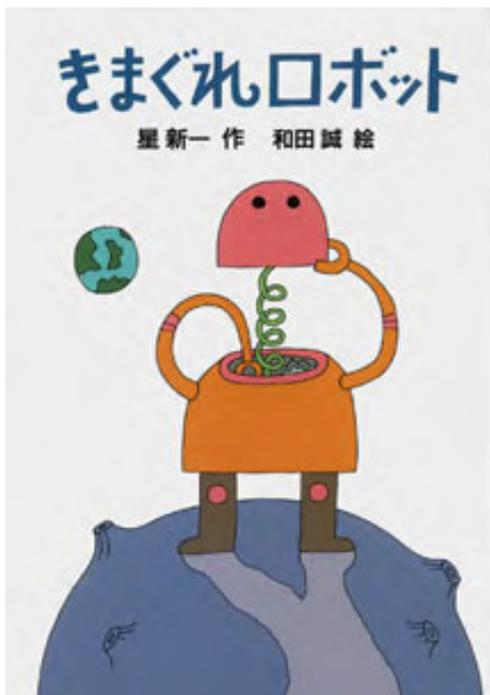
ひさし いなり やま  
弥は、稲荷山にあるおばあちゃんの家で夏休みを過ごすことになりました。108匹の伝説のキツネに守られているという稲荷山で、キツネが化けた男の子オキ丸といっしょに空を飛んだり、人間の言葉をしゃべる猫股<sup>また</sup>の大五郎とおしゃべりしたり、次々と不思議なことが起こります。

ジャンル  
ファンタジー

ジャンル  
妖怪

総ページ  
269p

# きまぐれロボット



●星 新一 作

●和田 誠 絵

理論社 / 1999年 / 1200円

お金持ちのエヌ氏が博士から買ったロボットは、料理もそうじもしてくれるし、面白い話を次々しゃべってくれる申し分ない召使<sup>めし</sup>いでした。しかし、その優秀なロボットがなぜか時々動かなくなってしまう「きまぐれロボット」など、ユーモラスで奇想天外な31のお話が入ったSF短編集です。

ジャンル  
SF

ジャンル  
短編集

総ページ  
196p

この作家の他の作品

- 「星新一ショートショートセレクション」(全15巻)
- 「星新一ちょっと長めのショートショート」(全10巻) など

# 銀河鉄道の夜



- 宮沢 賢治 作
- 春日部 たすく 絵  
岩波書店 / 1963年 / 2300円

貧しく孤独な少年ジョバンニは、ケンタウル<sup>さい</sup>祭の夜、ふと気がつくと、夜の空を走る銀河鉄道に乗っていました。親友のカムパネルラとともに銀河への旅に出る表題作「銀河鉄道の夜」のほか、「やまなし」「貝の火」「グスコープドリの伝記」など幻想的な12編がおさめられています。

ジャンル  
ファンタジー

ジャンル  
短編集

総ページ  
314p

- 作品集：宮沢賢治童話集  
●「風の又三郎」（全2巻）

# 木かげの家の小人たち



- いぬい とみこ 作
- 吉井 忠 画  
福音館書店 / 1967年 / 1600円

第二次世界大戦のさなか、9才のゆりは、祖父の代から家に住んでいるイギリスからきた小人の一家を必死で守ろうとします。不安な暮らしの中、小人の姉弟アイリスとロビンは、ハトの弥平や日本の小人アマネジャキの力を借りて、親たちとは違う、人間に頼らない暮らし方を探しはじめます。

ジャンル  
ファンタジー

ジャンル  
小人

総ページ  
288p

- シリーズ紹介：  
●「くらやみの谷の小人たち」

# ごんぎつね



- 新美 南吉 作
- 宮田 奈穂 さし絵

岩波書店（岩波少年文庫）／2002年／720円

きつねのごんは、兵十が病気の母親に食べさせようと捕ったうなぎにいたずらをして、逃がしてしまいます。後悔したごんは、母を亡くして1人になった兵十のところに栗やきのこを持っていきます。表題作「ごんぎつね」のほかに「てぶくろを買いに」「花のき村と盗人たち」「おじいさんのランプ」など代表作12編が入っています。

ジャンル  
短編集

総ページ  
306p

# しらこまき 白狐魔記 —源平の風—



- 斉藤 洋 作
- 高島 純 画

偕成社／1996年／1300円

源平の戦いのころ、人間に興味をもち、人間の言葉をおぼえたきつねが、白駒山の仙人のもとで修行をすれば神通力がつくと聞きました。仙人の弟子になり人間に化けることができるようになったきつねは、白狐魔丸という名前をもらい、旅に出ます。旅の途中、兄・頼朝に追われる源義経の一行に出会い、心ひかれて、義経について行くことにしました。

ジャンル  
ファンタジー

ジャンル  
歴史もの

総ページ  
222p

シリーズ紹介：白狐魔記

●「蒙古の波」 ●「洛中の火」 ●「戦国の雲」（ほか全5巻）※刊行中

# 旅のはじまり



- 竹下 文子 文
- 鈴木 まもる 絵

偕成社 / 1994年 / 1000円

ひとり旅の好きなケンは、長期出張中のお父さんに会いに行くために乗った特急電車マリン号の中で、黒ねこのサンゴロウに出会いました。ケン、失われたうみねこ族の宝を探すというサンゴロウといっしょに行くことになりました。手がかりは、古い地図だけです。途中下車をして、ふたりの冒険がはじまります。

ジャンル  
ファンタジー

ジャンル  
冒険

総ページ  
126 p

シリーズ紹介：黒ねこサンゴロウ

- 「キララの海へ」●「やまねこの島」●「黒い海賊船」（ほか全5巻）
- この作家の他の作品
- 「黒ねこサンゴロウ旅のつづき」（全5巻）

# だれも知らない小さな国



- 佐藤 さとる 作
- 村上 勉 絵

講談社 / 1985年（初版1969年） / 1100円

小学校3年生のとき、「ぼく」は不思議な小山を見つけました。すっかり小山が気に入ってたびたび遊びに行くうちに、ある時ぼくは、言い伝えどおり小人を見かけます。やがて大人になったぼくは、小人のことが忘れられず、小山を借りて小屋を建てようと思いますが、おかしなことが起こるようになりました。小さな黒いかげが、目のはしをかすめるのです。

ジャンル  
ファンタジー

ジャンル  
小人

総ページ  
223 p

シリーズ紹介：コロボックル物語

- 「豆つぶほどの小さいぬ」●「星からおちた小さな人」
- 「ふしぎな目をした男の子」（ほか全6巻）

## 時計坂の家



- 高樓 方子 著
- 千葉 史子 絵

リブリオ出版/1992年/2000円

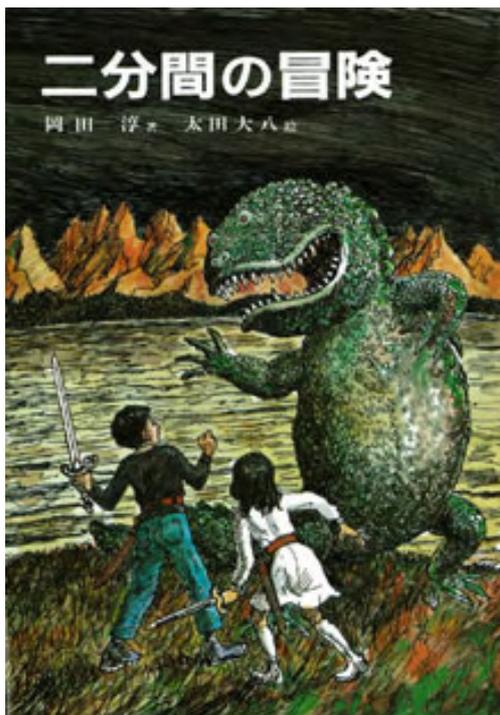
いとこのマリカから手紙をもらい、12歳の夏休みを過ごすことになった祖父の家で、フー子は不思議な扉を見つけます。窓わくにかかっていた懐中時計が、急にコチコチと動き出し花の形かいらゆうに変わると、扉の向こうは緑の園になっていました。フー子は、緑の園にどうしようもなくひきつけられ、やがて足をふみ入れます。

ジャンル  
ファンタジー

ジャンル  
夏休み

総ページ  
344p

## 二分間の冒険



- 岡田 淳 文
- 太田 大八 絵

偕成社/1985年/1400円

小学校6年生の悟は、学校で黒猫さとるダレカに呼び止められ異世界へ飛ばされます。元の世界に戻るためには「この世でいちばんたしかなもの」の姿になっているダレカを探さなければなりません。飛ばされた先の森で、勇者になることを押しつけられた悟は、もう1人の勇者かおりとともに、竜を退治に行きますが…。

ジャンル  
ファンタジー

ジャンル  
冒険

総ページ  
237p

# ノンちゃん雲に乗る



- 石井 桃子 作
- 中川 宗弥 画

福音館書店 / 1967年 / 1200円

朝ノンちゃんが目を覚ますと、お母さんはお兄ちゃんとお出かけをしていました。置いて行かれたのが悲しくて、泣きながらのぼった神社の大きなモミジの木から落ちたノンちゃんですが、下ではなく空に落ち、雲の上のおじいさんに拾われました。おじいさんに身の上のことを聞かれたノンちゃんは、一生懸命家族のことを話します。

ジャンル  
ファンタジー

ジャンル  
家族

総ページ  
**288** p

# 花 仙 人 —中国の昔話—



- 松岡 享子 文
- 蔡 皋 画

福音館書店 / 1998年 / 1100円

昔中国の小さな村に、花が好きで見事な庭を持つ秋先<sup>しゅうせん</sup>という老人が住んでいました。秋先は花を折られるのを恐れ、めったに庭に人を入れませんでした。ところがある日、ならず者の張委<sup>ちやうい</sup>とその手下によって、庭を荒らされてしまいます。悲しんだ秋先の前に花の仙女が現れ、もとの美しい庭に戻してくれますが…。

ジャンル  
昔話

総ページ  
**56** p

# はなはなみんみ物語



●わたり むつこ 作

●本庄 ひさ子 絵

リブリオ出版/1980年/1500円

はなはなとみんみは、双子の小人の兄妹です。父さん、母さん、白ひげじいさんの5人で巨大な木の中に住んでいました。かつては栄えていた小人族でしたが、魔法を戦争に使ったために、ほとんどが死に絶えたと思われていました。ある日、森のりすから自分たち以外に、小人を見たという知らせが届き、それを知った5人は、仲間を探す旅に出ます。

ジャンル  
ファンタジー

ジャンル  
小人

総ページ  
**336**p

シリーズ紹介：はなはなみんみ物語

- 「ゆらぎの詩の物語」
- 「よみがえる魔法の物語」
- 「えほんはなはなみんみの森」(全4巻)

# はな まめ 花豆の煮えるまで さよ -小夜の物語-



●安房 直子 作

●味戸 ケイコ 絵

借成社/1993年/1200円

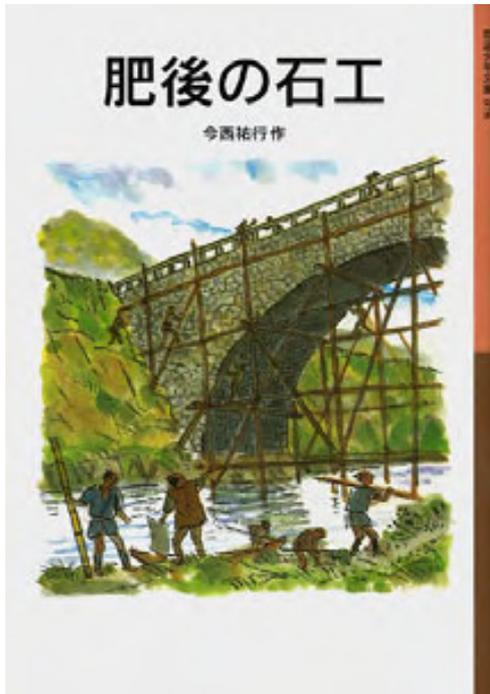
山奥にある温泉宿の娘小夜には、お母さんがいません。おばあさんは、お母さんは小夜が産まれてから、風になって山んばの里に帰ってしまったのだと言います。お父さんとお母さんの出会いのお話「花豆の煮えるまで」、小夜も風になって不思議な光景を見る「紅葉の頃」など、山んばの娘小夜の6つのお話が入っています。

ジャンル  
ファンタジー

ジャンル  
家族

総ページ  
**142**p

# 肥後の石工



- 今西 祐行 作
- 太田 大八 絵

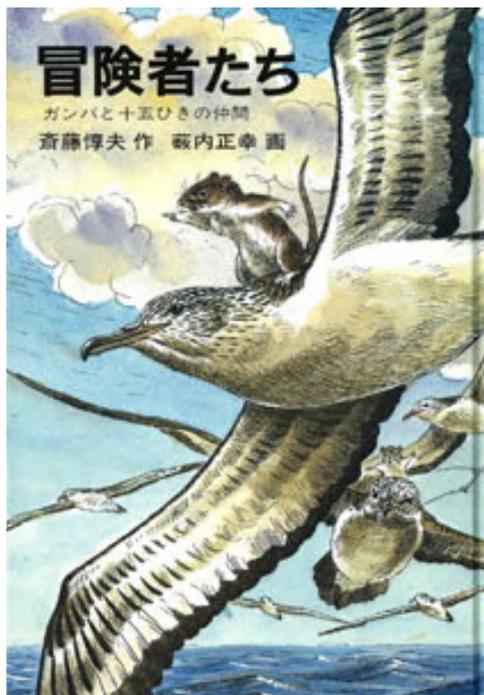
岩波書店（岩波少年文庫）／2001年（初版1965年 実業之日本社）／680円

江戸時代の末期、薩摩（鹿児島県）で橋造りのために集められた肥後（熊本県）の石工たちは、石橋の完成後秘密を守るために殺されてしまいます。1人生き残ってしまった石工頭岩永三五郎（いしくがしら）は、罪悪感に苦しみながらも、肥後の緑川に新しい橋をかけるため、命をかけて弟子たちにその技術を伝えていきます。

ジャンル  
歴史もの

総ページ  
**240**p

# 冒険者たち —ガンバと十五ひきの仲間—



- 斎藤 惇夫 作
- 萩内 正幸 絵

岩波書店／1982年（初版1976年 アリス館牧新社刊）／1800円

町ネズミのガンバは、イタチに襲われているシマネズミたちを助けるために、夢見が島に渡ります。イダテン、ガクシャ、ヨイショ、イカサマなど15匹の個性豊かな仲間たちとともに、恐ろしい白イタチ、ノロイが率いる一族と、知恵と力のかぎりをつくした激しいたたかいをくりひろげます。

ジャンル  
冒険

ジャンル  
仲間

総ページ  
**380**p

シリーズ紹介：

- 「グリックの冒険」
- 「ガンバとカワウソの冒険」

# ぼくのお姉さん



- 丘 修三 作
- かみや しん 絵

偕成社 / 1986年 / 1200円

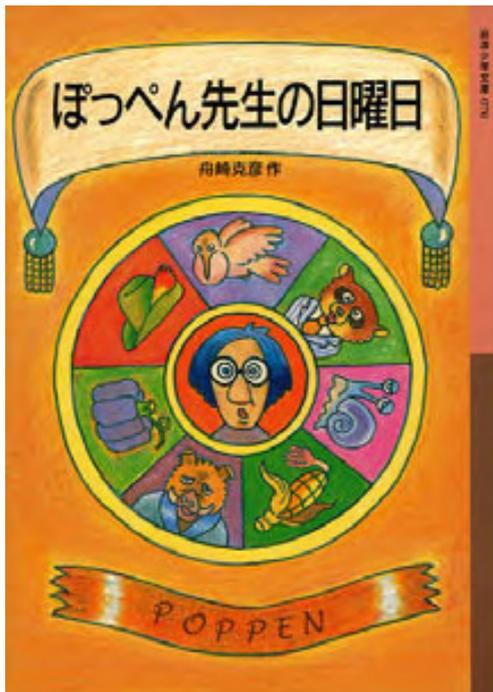
正一のお姉さんはダウン症です。この春から福祉作業所で働いています。17歳なのに赤ん坊のようにしか話せないお姉さんが、初めてもらったお給料で、家族にごちそうしてくれました。表題作「ぼくのお姉さん」をはじめ、「歯型」「こおろぎ」など、障がいのある子どもたちをテーマにした6つのお話が入っています。

ジャンル  
障がい

ジャンル  
短編集

総ページ  
**182**p

# ぽっぺん先生の日曜日



- 舟崎 克彦 作・画

岩波書店 (岩波少年文庫) / 2000年 (初版1973年 筑摩書房) / 680円

日曜日の朝、ぽっぺん先生は書齋の本の整理を始めました。ほこりまみれの「なぞなぞの本」を眺めている内に、本の中に入り込んでしまいます。本から出るには、各ページのなぞなぞを解かなければなりません。各ページには「服がおふろにゆくとき、ポケットには何が入っているでしょう」など変なものばかりです。奇妙な動物たちとやりとりしながら、挑戦していきますが…。

ジャンル  
ファンタジー

ジャンル  
なぞなぞ

総ページ  
**266**p

シリーズ紹介：

- 「ぽっぺん先生と帰らずの沼」
- 「ぽっぺん先生と笑うカモメ号」

## 魔女の宅急便



- 角野 栄子 作
- 林 明子 画

福音館書店 / 1985年 / 1500円

13歳の年に、ひとり立ちしなければならないという魔女のしきたりに従い、キキは相棒の黒猫ジジとともに旅立ちました。魔女のいない海辺の町で、ほうきに乗ってお届け物をする宅急便屋さんを始めたキキは、その仕事を通じて、さまざまな人たちと出会い、成長していきます。

ジャンル  
ファンタジー

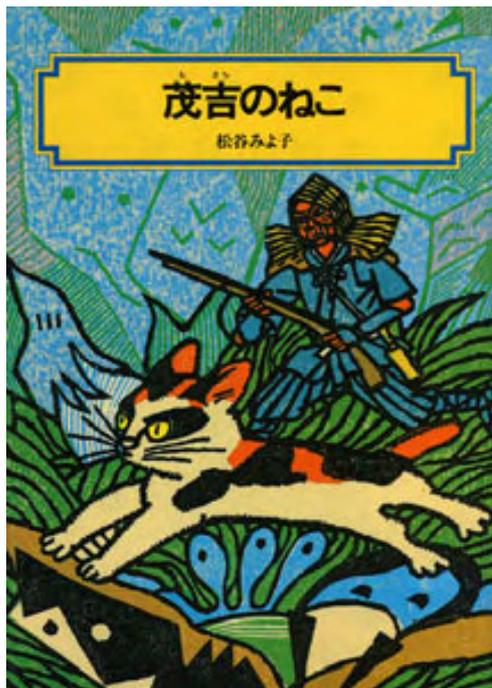
ジャンル  
魔女

総ページ  
**272**p

シリーズ紹介：

- 「魔女の宅急便」その2～5

## 茂吉のねこ



- 松谷 みよ子 文
- 田代 三善 絵

偕成社（偕成社文庫） / 1976年 / 700円

腕はいいが大酒飲みの鉄砲うち茂吉は、ある日訪れた酒屋で、覚えのない勘定がたまっているのに驚きます。それは、化け物たちの寄り合いに加えてもらおうと、童子に化けて酒を買っていた茂吉の飼い猫のしわざだったのですが…。表題作「茂吉のねこ」や、「おしになった娘」「かっこう」など、9つの話がおさめられています。

ジャンル  
短編集

総ページ  
**208**p

## 森の王国 —自然がぼくにくれたもの—



- 竹田津 実 著
  - 加藤 利久 絵
- 偕成社 / 1996年 / 1200円

大分の豊かな自然の中で子ども時代を過ごした著者が、木の上に秘密のかくれ小屋を作ったことや、メジロやジョウビタキをつかまえたことなど、なつかしい思い出を語ります。「ウシガエル」「アユ」「スズキ」など、鎮守の森を舞台に、野生の命や自然との豊かなふれ合いが描かれた5編がおさめられています。

ジャンル  
自然

ジャンル  
動物

総ページ  
169p

## わらしべ長者 —日本民話選—



- 木下 順二 作
  - 赤羽 末吉 画
- 岩波書店（岩波少年文庫） / 2000年（初版1962年） / 760円

人々の間に古くから語りつがれてきた日本の昔話集です。民話の語り口をいかした独特の文体によって再話されています。1本のわらを手にした若者が、それをきっかけにして最後には長者になる「わらしべ長者」のほか、「こぶとり」「大工と鬼六」など、よく知られた民話22編がおさめられています。

ジャンル  
昔話

ジャンル  
短編集

総ページ  
384p